

災害復興計画基図の概要

災害復興計画基図は、2011 年の 5 月から 9 月にかけて撮影された空中写真から道路や建物、地形等の地図情報を読み取り、現地調査で確認をした上で作成した詳細な地図です。

災害復興計画基図の作成範囲は、青森県八戸市から福島県いわき市にかけての沿岸部、4 県 39 市町村の津波被災区域・都市計画区域(約 5,320km²)です。

災害復興計画基図では公共測量標準図式に則り、通常交通施設、建物、土地利用等を表示しているほか、仮設住宅やがれき集積地、休止中の公共施設等も表示しています。このため、まちづくり計画だけではなく、幅広い復興計画に活用されることが期待できます。また、平野部の湛水域や震災後の等高線(2m間隔)も描かれているので、津波・高潮対策、移転先適地選定等、災害対策地図としても有用です。